



九州森林管理局 有識者懇談会を開催

地域管理経営計画と国有林野  
施業実施計画の変更・経常樹立  
に係る有識者懇談会を、「国有  
林野の管理経営に関する法律」  
に基づき、3月5日に開きまし  
た。  
平成25年度については、6つ  
の森林計画区における経常樹立  
に加え、これら  
以外の計画区に  
ついての変更計  
画が行われたこ  
とから、計画の  
変更・経常樹立  
に係るご意見を  
懇談会の有識者  
委員の皆様より  
頂きました。



懇談会の冒頭あいさつを述べら  
れる川端局長

冒頭、川端省三  
九州森林管理局  
長より、「本日  
は、国有林の管  
理経営の基本と  
なる地域管理経  
営計画等の樹立  
にあたっての考  
え方、計画事項  
などについて審  
議をお願いした  
い。また、九州  
地域においては、  
資源の充実が進  
んでおり間伐材  
利用だけでなく、  
木質バイオマス  
発電、海外への  
輸出など、これ  
まで経験したことのない情勢で  
ある。委員の皆様方から忌憚の  
ないご意見を頂きたい」とあい  
さつ。

(担当：計画課)

# 有識者懇談会を開催

## 地域管理経営計画等について議論

地域管理経営計画と国有林野  
施業実施計画の変更・経常樹立  
に係る有識者懇談会を、「国有  
林野の管理経営に関する法律」  
に基づき、3月5日に開きまし  
た。

平成25年度については、6つ  
の森林計画区における経常樹立  
に加え、これら  
以外の計画区に  
ついての変更計  
画が行われたこ  
とから、計画の  
変更・経常樹立  
に係るご意見を  
懇談会の有識者  
委員の皆様より  
頂きました。

続いて、九州森林管理局にお  
ける変更・経常樹立計画の概要  
などについて、局担当者から説  
明を行い審議に入りました。

有識者懇談会委員の皆様から  
は「生物多様性の保全の面から  
風力発電に伴う風の流れによっ  
て森林にどのような影響がある  
のかなど、モニタリングを進め  
て頂きたい」、「シカの食害に



座長を務める九州大学大学院  
農学部吉田茂二郎教授

ついで、一般住民まで情報の発  
信を行うことが大切」、「木質  
バイオマス関係がこの計画にと  
う反映されているのか」などの  
貴重なご意見が提出されるとも  
に、結果的には、今回の変更・  
経常樹立を行う計画について意  
義なしとの結論を頂きました。

その後、主伐・再造林への取  
り組みについて説明を行い、有  
識者懇談会委員から「主伐を増  
やすことは良いことだが、供給  
対策をしっかりとやってほしい」、  
「木質バイオマス発電に伴う供  
給体制は出来ていないのではな  
いか」など活発な意見交換が行  
われた後、有識者懇談会を終了  
しました。



# 自署の名山

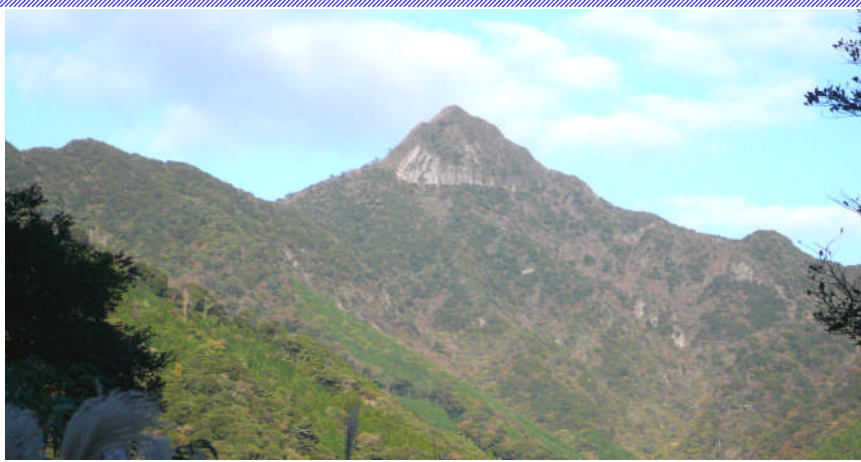


長崎森林管理署

大村森林事務所

森林官 松井 弘喜

長崎県の南東部に位置する経ヶ岳標高1075㍎、五家原岳1057㍎は、多良岳山系の中央部に位置しています。東方は佐

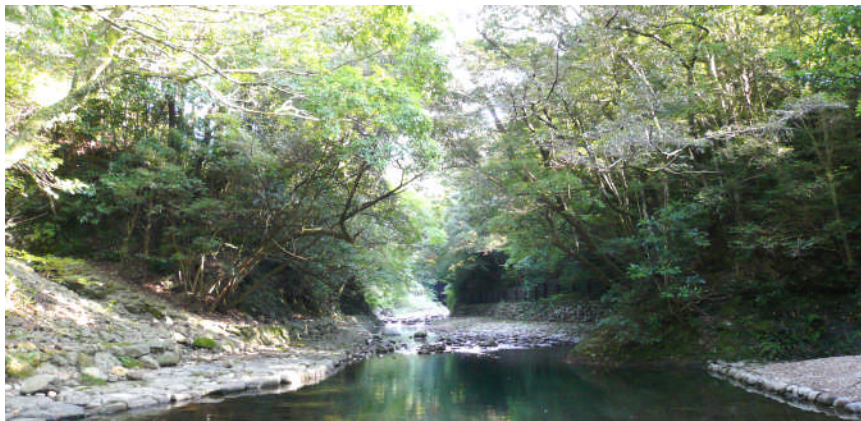


大村市黒木から見る経ヶ岳方面の眺望

## 多良岳山系の絶景「経ヶ岳・五家原岳」 「経ヶ岳」1075㍎「五家原岳」1057㍎

賀県境で有明海に面した山岳地帯をなし、西方は山岳地帯を経て大村平野に、南方は五家原岳の山岳地帯が続いています。また、北方には経ヶ岳を主峰とする山岳地帯をなしています。

一帯は県立多良岳自然公園に指定。昭和56年にはレクリエーションの森「経ヶ岳・五家原岳風景林」に指定されて、渓谷美や春夏の新緑、秋の紅葉、モミ、ツカシ類を主体とした天然林の森林美がすばらしく、ツクシ



夏場は川遊びや森林浴が楽しめる黒木渓谷

シヤクナゲ、マツノカミソリなどの花々が見られ四季折々の景観で登山が楽しめます。また、山頂からは多良岳や大村湾を見渡せ、天気の良い日は雲仙岳も見渡せます。経ヶ岳・五家原岳の下方には黒木渓谷があり、標高400㍎の緑豊かな自然に恵まれた清流で、夏場は、川遊び・森林浴などが楽しめます。秋には紅



花を咲かす「キツネノカミソリ」

この黒木渓谷と隣接する自然溪流を利用して整備された郡川砂防公園があり、手軽に水辺とのふれあいが楽しめます。アクセスは、大村市役所から経ヶ岳、五家原岳下方の黒木林道まで約20㍎、約30分。また、諫早市側から五家原岳山頂前まで自動車での通行が可能で、諫早市役所から約19㍎、約30分で行くことができます。

みなさんも是非一度、このすばらしい自然を満喫してはいかがでしょうか。

## 森林教室の授業を受け持つ

【屋久島森林管理署】屋久島町立安房小学校から「森林教室」

の依頼があり、5年生41人に森林教室を行いました。これは、5年生の社会科授業の一環として、社会科教材の「森のはたらき」や屋久島の林業について50分間の授業を受け持ちました。児童らは屋久島での林業や山で働く人たちのことなどについて真剣に見て、聞いて感動していました。多くの質問もあり「短い時間ででしたが楽しく、林業について学びました」などの言葉がありました。これからも環境教育の場などにおいて林業への関わり方について理解を深めてもらうために取り組んでいくこととしています。



職員の説明を聞く生徒ら＝屋久島



# 第4回シカ捕獲業務検討会を開催

## シカ被害対策のための情報・技術・知識の共有を図る

2月18日、九州森林管理局大会議室において「第4回シカ捕獲業務検討会」を開き、林野庁をはじめ関東森林管理局、四国森林管理局及び九州森林管理局・森林管理署などから職員あわせて約100人が参加しました。

これは、近年、シカの生息数の増加や生息域が拡大し、シカの採餌などによる農林業被害が深刻化するとともに、森林生態系や生物多様性の劣化、消失などに直面しているため、シカ被害対策として捕獲に関する取り組みについての発表・意見交換を行いました。



局・署職員100人が参加した検討会

野庁長官賞最優秀賞を受賞した課題を今回の発表用に編集されたものです。続

はじめに、川端省三九州森林管理局局長からのあいさつを受けた後、石澤尚史林野庁経営企画課国有林野生息系保全室長から、林野庁における鳥獣被害対策についての説明がありました。

発表の部では、松坂勝士関東局静岡森林管理署主任森林整備官から「富士山国有林のシカ対策」実施体制の重要性の発表がありました。これは、昨年の12月に林野庁で開かれた国有林野事業業務研究発表会で林

いて、廣田光春大分西部森林管理署森林整備官から「大分西部森林管理署におけるシカ被害対策の取り組み」、日田仁志宮崎北部森林管理署森林技術指導官から「椎葉村・駆除班との鹿被害対策協定書」、前田道博熊本南部森林管理署次長から「シカ捕獲の安全対策について」、中西雄一郎保全課企画官から「九州におけるシカ被害対策の現状と対策」について発表がありました。最後に、中山浩次計

画保全部長から全体をとおした講評をいただきました。本検討会が開かれたことにより、捕獲に関する情報・技術・知識の共有が図られ、シカ被害対策が一層推進されるものと思えます。

熊本南部森林管理署からの発表の様子



熊本南部森林管理署からの発表の様子

大分西部森林管理署からの発表の様子



大分西部森林管理署からの発表の様子

# 「異常気象」

2月13日の昼までは、どちらかと言えば温かでのどかな日々だった。天気予報は曇りだったのに、午後になってパラパラ小雨が降ってきて、それが細雪になって…あっといつ間に銀世界！その間約2時間その後ほとんど雪降り続け、積雪50センチの大雪になってしまった。



田島山業株式会社

代表

田島信太郎さん

東京オリンピックの開会式を観に行った祖母はその僅か3ヵ月後になんで亡くなったが、葬

と危惧していたらこの有様。ニュースを覗いていると全国的に大雪で、各地で「孤立集落」

儀の朝は積雪1メートルを超す大雪で、遠来の参列者は誰も到達できなかった。以来そのような大雪はトンと覚えがなく、せいぜい20〜30センチ、それも数年に一度というペー

平成3年の台風災害で、当地は未曾有の被害を受け、我家も生活が一変した。「森は山の神のおわすところ」災害を受けて痛感したこの言葉を久しぶりに思い出した。



仕事柄、木材とは縁の深い建築の設計に携わっています。日々感じていた木材の事についてつれづれなるままにつづってみました。

家づくり、日本の伝統工法  
 すでにお話しする伝統工法は家づくりの工法の分類上の伝統工法ではありません。柱・梁などの家を構成する木材（軸組みと言います）を隠さずに見せる工法です。いわゆる、古民家がその代表例です。

## 家づくりの原点としての 伝統工法のすすめ

昔の大工さんは木材は呼吸して生き続ける事を知っていました。だから柱や梁を隠す事はありませんでした。隠さない訳です。から柱と梁の接合部や梁同士の間接合部が直接見える事になります。



向中野正光さん

す。そのため日本の大工さんは昔からきれいに見えるいろいろな接合法を考えてきました。

また柱や梁が常に見えているわけですから傷みもわかりやすく、傷んだ部分は丁寧に直して使ってきたのです。究極のエコです。古い民家が現存するのはそこに理由があります。

家づくりの様が変わり、新しい工法やプレハブなどの進出とデザインの多様化などで伝統工法による家づくりは減少する一

①しやすい、②大きな開口部が取りやすい（古民家のような建具で構成された大空間がつくれる）

③開口部が取りやすいので、風通しのいい家が出来る（夏場の冷房は要りません）④古くなった住宅の解体・移築のし易さなど挙げるときりがありません。自然の風が通る、伝統工法の開け放てる家がいかにエコロジカルか見直してみませんか。

木材の地産地消を！  
 伝統工法による家づくりは減少する一方です。柱や梁を見せなくしていいわけですから軸組みはどんな木材でもよくまりました。価格の安い輸入木材が瞬く間に進出しました。生育環境や山の状態や原木の状態も分らないままの輸入木材を、産地表示の不明な野菜と同じ扱いとするのは無理があるとしても、製品に対する不安はありません。高温多湿の日本の気候で育った日本の木材だからこそ、製材してからも日本の気候の中で、家とともに呼吸し、成長し続けるのです。

では息苦しくてたまりません。伝統工法はエコロジカルな耐久性の面でも伝統工法は威力を発揮します。家の短命化は資源の無駄遣いにほかなりません。

伝統工法のエコロジカルな面を挙げてみます。①増改築のし易さ（柱・梁の軸組みで構成されているので他の工法に比べて

家づくりは伝統工法で、洋風和風ではなく、飛騨風、京風、飢肥風でいかがですか。

（宮崎県北諸県郡在住）

# 地域管理経営計画及び国有林野施業実施計画の策定及び変更の公表について

九州森林管理局では、管内の各森林計画区について、国有林野の管理経営の方向などを示す「地域管理経営計画」を、国有林野の伐採、造林等の箇所別計画量などを示す「国有林野施業実施計画」を、それぞれ5年を1期として順次定めています。

この度、下記森林計画区の平成25年度における地域管理経営計画及び国有林野施業実施計画の策定及び変更について公表しましたのでお知らせします。

なお、公表内容については関係局署に掲示される公表文もしくは九州森林管理局HP (<http://www.rinya.maff.go.jp/kyusyu/>) の「公表事項」をご覧ください。

- 【第4次計画策定】筑後・矢部川、緑川、大分北部、五ヶ瀬川、南薩、沖縄北部
- 【第4次計画の変更】白川・菊池川、球磨川、大分中部、大分南部、一ツ瀬川、熊毛



# 人 の う ら じ き

担当

田中則一（北薩森林管理署 長）

総務企画部企画調整課監査官

寺本 勝（鹿児島森林管理署 次長）

署次長

尾野亜裕美（林野庁森林整備部森林利用課）

3月31日付林野庁長官発令

屋久島森林管理署長

総務企画部専門官（契約適正化 担当）

佐賀森林管理署次長

増田莉菜（林野庁国有林野部 経営企画課）

退職（（独）森林総合研究所）

樋口 浩（計画保全部自然遺 産保全調整官）

園田克美（総務企画部企画調 整課監査官）

廣田忠善（計画保全部保全課 課長補佐）

4月1日付森林管理局長発令

小原正人（大分森林管理署 長）

近畿中国局広島北部森林管理署 長

熊本南部森林管理署次長

濱田辰広（宮崎森林管理署地 域林政調整官）

4月1日付森林管理局長発令

退職（（独）森林総合研究所）

米田雅人（屋久島森林管理署 長）

総務企画部専門官（契約適正化 担当）

熊本南部森林管理署次長

永田 豊（沖繩署）

米丸正則（大隅森林管理署 長）

近畿中国局岡山森林管理署長

井手幹雄（（独）森林総合研 究所総務部管理課 長）

大分西部森林管理署次長

澤田逸男（熊本南部署）

退職（（独）森林総合研究所）

一本 讓（計画保全部流域 管理指導官）

一高一任（（独）森林総合研 究所林木育種セ ンター九州育 種場連絡調整課 長）

宮崎北部森林管理署次長

石原健司郎（保全課）

4月1日付林野庁長官発令

地域木材情報分析官

宮崎健次（総務企画部総務課 課長補佐（福利厚 生担当））

西都児湯森林管理署次長

福田貴史（東北局）

狩野 誠（近畿中国局広島北 部森林管理署長）

総務企画部総務課長

黒木興太郎（佐賀森林管理署 次長）

草野秀雄（宮崎南部森林管理 署総括事務管理 官）

金田伸也（北薩署）

福岡森林管理署長

浪崎 晃（総務企画部専門官 契約適正化担 当）

山下 正（屋久島森林管理署 次長）

鹿児島森林管理署次長

渡邊昭伍（熊本署）

西林寺隆（地域木材情報分析 官）

計画保全全部保全課長

川上伸一（林野庁森林整備部 整備課課長補佐 官（林道事業班担 当））

佐藤敏郎（熊本森林管理署総 括事務管理官）

花田孝文（鹿児島署）

大分森林管理署長

計画保全全部保全課長

猪島明久（大分西部森林管理 署次長）

鹿児島森林管理署次長

武原龍行（大分西部署）

有村孝一（（独）森林総合研 究所林木育種場長）

計画保全全部保全課長

林野庁出向

荒木政明（宮崎北部森林管理 署次長）

山口輝文（中部局計画保全部 計画課長）

宮崎森林管理署長

森林整備部森林技術・支援セ ンター所長

林野庁出向

松岡良二（計画保全部治山 課保安林係長）

谷口正美（熊本南部署）

研究指導課森林・ 林業技術者育成対 策官（技術開発 普及担当）

古市真二郎（森林整備部企画 官（技術開発・ 普及担当））

林野庁国有林野部管理課企画官 前田道博（熊本南部森林管理 署次長）

林野庁出向

屋久島森林生態系保全セ ンター

北薩森林管理署長

林野庁国有林野部管理課企画官

九州局出向

下崎哲也（西都児湯森林管理 署次長）

屋久島森林生態系保全セ ンター

佐賀賢二（四国局森林整備部 技術普及課長）

林野庁国有林野部管理課企画官

大隅森林管理署長

山口輝文（中部局計画保全部 計画課長）

屋久島森林生態系保全セ ンター

大隅森林管理署長

総務企画部専門官（契約適正化 担当）

九州局出向

下崎哲也（西都児湯森林管理 署次長）

屋久島森林生態系保全セ ンター

山口輝文（中部局計画保全部 計画課長）

総務企画部専門官（契約適正化 担当）

九州局出向

下崎哲也（西都児湯森林管理 署次長）

屋久島森林生態系保全セ ンター

総務企画部専門官（契約適正化 担当）

九州局出向

下崎哲也（西都児湯森林管理 署次長）

下崎哲也（西都児湯森林管理 署次長）

屋久島森林生態系保全セ ンター

九州局出向

下崎哲也（西都児湯森林管理 署次長）

下崎哲也（西都児湯森林管理 署次長）

下崎哲也（西都児湯森林管理 署次長）

屋久島森林生態系保全セ ンター

下崎哲也（西都児湯森林管理 署次長）

下崎哲也（西都児湯森林管理 署次長）

下崎哲也（西都児湯森林管理 署次長）

下崎哲也（西都児湯森林管理 署次長）

屋久島森林生態系保全セ ンター

下崎哲也（西都児湯森林管理 署次長）

下崎哲也（西都児湯森林管理 署次長）

下崎哲也（西都児湯森林管理 署次長）

下崎哲也（西都児湯森林管理 署次長）

屋久島森林生態系保全セ ンター

下崎哲也（西都児湯森林管理 署次長）

下崎哲也（西都児湯森林管理 署次長）

下崎哲也（西都児湯森林管理 署次長）

下崎哲也（西都児湯森林管理 署次長）

屋久島森林生態系保全セ ンター

下崎哲也（西都児湯森林管理 署次長）

下崎哲也（西都児湯森林管理 署次長）

下崎哲也（西都児湯森林管理 署次長）

下崎哲也（西都児湯森林管理 署次長）

屋久島森林生態系保全セ ンター

下崎哲也（西都児湯森林管理 署次長）

下崎哲也（西都児湯森林管理 署次長）

下崎哲也（西都児湯森林管理 署次長）

下崎哲也（西都児湯森林管理 署次長）

屋久島森林生態系保全セ ンター

下崎哲也（西都児湯森林管理 署次長）

下崎哲也（西都児湯森林管理 署次長）

下崎哲也（西都児湯森林管理 署次長）

下崎哲也（西都児湯森林管理 署次長）

屋久島森林生態系保全セ ンター

下崎哲也（西都児湯森林管理 署次長）

下崎哲也（西都児湯森林管理 署次長）

下崎哲也（西都児湯森林管理 署次長）

下崎哲也（西都児湯森林管理 署次長）

屋久島森林生態系保全セ ンター

下崎哲也（西都児湯森林管理 署次長）

下崎哲也（西都児湯森林管理 署次長）

下崎哲也（西都児湯森林管理 署次長）

下崎哲也（西都児湯森林管理 署次長）

屋久島森林生態系保全セ ンター

下崎哲也（西都児湯森林管理 署次長）

下崎哲也（西都児湯森林管理 署次長）

下崎哲也（西都児湯森林管理 署次長）

下崎哲也（西都児湯森林管理 署次長）

屋久島森林生態系保全セ ンター

下崎哲也（西都児湯森林管理 署次長）

下崎哲也（西都児湯森林管理 署次長）

下崎哲也（西都児湯森林管理 署次長）

下崎哲也（西都児湯森林管理 署次長）

屋久島森林生態系保全セ ンター

専門官  
 竹部浩一郎(長崎署)  
 森林整備課路網整備係長  
 甲斐誠一(鹿兒島署)  
 資源活用課供給計画係長  
 石原拓弥(大分署)  
 森林技術・支援セクター森林技術普及専門官  
 大平留男(宮崎署都城支署)  
 総務課安全衛生係長  
 林田 誠(長崎署)  
 森林技術・支援セクター企画係長  
 東 敬介(西都児湯署)  
 熊本南部署森林技術指導官  
 中嶋紀光(治山課)  
 大分署森林技術指導官  
 渡辺行直(福岡署)  
 大隅署森林技術指導官  
 郷原寛美(宮崎署都城支署)  
 熊本署総括地域林政調整官  
 桑原英隆(熊本署)  
 鹿兒島署総括地域林政調整官  
 古閑智之(鹿兒島署)  
 宮崎署地域林政調整官  
 原田 太(大隅署)  
 沖繩署地域林政調整官  
 押方清隆(保全課)  
 福岡署総括事務管理官  
 深田孝治(宮崎署都城支署)  
 熊本署総括事務管理官  
 渡邊健一郎(熊本署)  
 熊本南部署総括事務管理官  
 飯屋 明(西都児湯署)

宮崎南部署総括事務管理官  
 大岩根強(宮崎署都城支署)  
 鹿兒島署総括事務管理官  
 杉野隆二(福岡署)  
 大隅署総括事務管理官  
 瀬戸 寛(鹿兒島署)  
 沖繩署総括事務管理官  
 植薄和彦(北薩署)  
 熊本署総括森林整備官  
 松永雄治(長崎署)  
 西都児湯署総括森林整備官  
 高津忠孝(森林整備課)  
 宮崎署都城支署総括森林整備官  
 金津圭介(森林技術・支援セクター)  
 宮崎南部署総括森林整備官  
 野口安男(熊本南部署)  
 熊本南部署総括治山技術官  
 間宮 学(大隅署)  
 大分西部署総括治山技術官  
 井 孝好(熊本署)  
 大分署総括治山技術官  
 山部秀巳(治山課)  
 宮崎署総括治山技術官  
 古庄誠司(大分西部署)  
 北薩署総括治山技術官  
 針持秀一(鹿兒島署)  
 大隅署総括治山技術官  
 徳満千秋(大隅署)  
 熊本署主任地域林政調整官  
 白石光成(沖繩署)  
 鹿兒島署主任地域林政調整官  
 池田定二(北薩署)  
 福岡署主任事務管理官

鈴木 誠(大分西部署)  
 熊本南部署主任事務管理官  
 大倉浩一(大分西部署)  
 大分西部署主任事務管理官  
 志田明子(大分署)  
 大分署主任事務管理官  
 山本克郎(福岡署)  
 宮崎署主任事務管理官  
 白坂 進(宮崎署)  
 宮崎署都城支署主任事務管理官  
 竹下清高(宮崎署)  
 北薩署主任事務管理官  
 竹之内彰(大隅署)  
 大隅署主任事務管理官  
 木村 通(大隅署)  
 福岡署主任森林整備官  
 武藤良助(福岡署)  
 長崎署主任森林整備官  
 松崎正一(北薩署)  
 熊本署主任森林整備官  
 渡辺浩司(資源活用課)  
 熊本南部署主任森林整備官  
 村木信一郎(熊本南部署)  
 熊本南部署主任森林整備官  
 平野耕一(大隅署)  
 大分西部署主任森林整備官  
 荒木政雄(福岡署)  
 宮崎北部署主任森林整備官  
 柏木正美(森林技術・支援セクター)  
 宮崎南部署主任森林整備官  
 藤田康孝(宮崎署)  
 宮崎南部署主任森林整備官  
 黒谷幸樹(宮崎南部署)

北薩署主任森林整備官  
 小薄政弘(屋久島森林生態系保全セクター)  
 北薩署主任森林整備官  
 沖田寿浩(宮崎南部署)  
 鹿兒島署主任森林整備官  
 中間文博(西都児湯署)  
 大隅署主任森林整備官  
 寺田雄一郎(宮崎南部署)  
 沖繩署主任森林整備官  
 木下栄治(計画課)  
 鹿兒島署主任治山技術官  
 幾野俊彦(鹿兒島署)  
 屋久島署主任治山技術官  
 河野康治(宮崎署)  
 福岡署事務管理官  
 藤本順也(佐賀署)  
 佐賀署事務管理官  
 平松大志(大隅署)  
 熊本南部署事務管理官  
 水本利香(宮崎署都城支署)  
 大分西部署事務管理官  
 市原増雄(熊本署)  
 大分西部署事務管理官  
 木崎慎一(宮崎北部署)  
 宮崎北部署事務管理官  
 河田絵里奈(経理課)  
 宮崎署都城支署事務管理官  
 白田浩臣(熊本南部署)  
 鹿兒島署事務管理官  
 井川武史(福岡署)  
 屋久島署事務管理官  
 高岡勝美(宮崎北部署)  
 福岡署森林整備官

日隈俊幸(佐賀署)  
 福岡署森林整備官  
 後藤貴裕(大隅署)  
 佐賀署森林整備官  
 立山計司(長崎署)  
 長崎署森林整備官  
 宮島貴文(長崎署)  
 熊本南部署森林整備官  
 松永恭一(宮崎署都城支署)  
 大分西部署森林整備官  
 穴井隆文(北薩署)  
 大分署森林整備官  
 後藤一哉(大分西部署)  
 大分署森林整備官  
 古閑義郎(大分西部署)  
 西都児湯署森林整備官  
 田中善成(宮崎南部署)  
 西都児湯署森林整備官  
 藏富英典(大隅署)  
 北薩署森林整備官  
 草野正揮(熊本南部署)  
 北薩署森林整備官  
 長口棟博(沖繩署)  
 大隅署森林整備官  
 宮下尚己(屋久島署)  
 大隅署森林整備官  
 歌野昭彦(屋久島署)  
 屋久島署森林整備官  
 黒田伸博(北薩署)  
 沖繩署森林整備官  
 本田師久(環境省)  
 福岡署治山技術官  
 峯 良彦(長崎署)  
 佐賀署治山技術官

# 転任挨拶

## お世話になりました



前地域木材情報分析官  
**西林寺 隆**

昨年4月から1年間、九州森林管理局に勤務させていただきました

対し立木販売の前倒し実施を行

ました。

一般会計化に伴い、国有林材供給調整検討委員会を設置し、木材需給の動向などを対応し、供給調整の必要性などを検討する

という仕組みが導入されました。委員会での学識経験者の多様な意見は非常に勉強になりました。

秋口からの原木不足に

対し立木販売の前倒し実施を行

うなど、九州局として需給動向に對し的確に対応できたと思ひます。

在任中は、素材の安定供給システム、生産と造林の一貫実施など、九州局の先駆的な取り組みを間近でみる事ができ、大変勉強になりました。今後の業務に役立てたいと思ひます。

最後に、九州局の事業の発展と皆様のご健勝を祈念して、お礼の挨拶とさせていただきます。

本当にありがとうございました。

浅尾純治(福岡署)

長崎署治山技術官

中村健一(宮崎署都城支署)

熊本署治山技術官

笹原秀司(長崎署)

西都児湯署治山技術官

佐藤修治(大分署)

宮崎署治山技術官

河本正人(西都児湯署)

宮崎署都城支署治山技術官

竹原敬一郎(佐賀署)

長崎署治山技術官

野田祐治(福岡署)

宮崎署都城支署治山技術官

江島昭則(大分署)

熊本署地域技術官

江藤香織(独)九州育種場

宮崎署都城支署地域技術官

藤田敬一郎(宮崎署都城支署)

西都児湯署地域技術官

山部紗耶佳(西都児湯署)

宮崎南部署地域技術官

久保和幸(企画調整課)

福岡署地域統括森林官

東 誠也(保全課)

宮崎北部署地域統括森林官

阿南一義(熊本南部署)

宮崎署都城支署地域統括森林官

吉田弘幸(宮崎南部署)

北薩署地域統括森林官

本田 司(大分署)

長崎署首席森林官

渡瀬博美(北薩署)

長崎署首席森林官

荒木逸郎(環境省)

熊本署首席森林官

森永敏朗(北薩署)

熊本南部署首席森林官

深耕富大(総務課)

熊本南部署首席森林官

木村 真(熊本南部署)

熊本南部署首席森林官

遠坂洋志(北薩署)

宮崎北部署首席森林官

後藤彰彦(宮崎北部署)

宮崎署都城支署首席森林官

内場 司(宮崎署都城支署)

北薩署首席森林官

山口辰郎(長崎署)

北薩署首席森林官

山邊隆広(宮崎北部署)

大隅署首席森林官

梶丸正幸(宮崎署)

福岡署森林官

藤井武史(宮崎署都城支署)

福岡署森林官

濱田 巧(沖繩署)

長崎署森林官

真野康彦(大分西部署)

熊本南部署森林官

中村英之(長崎署)

熊本南部署森林官

入江和浩(北薩署)

大分西部署森林官

福泉裕介(大分西部署)

大分署森林官

稲員友樹(環境省)

宮崎北部署森林官

岡田伸一(宮崎署都城支署)

宮崎署森林官

水野美香(西都児湯署)

宮崎署森林官

柿田憲司(宮崎署都城支署)

宮崎署森林官

平生由菜(北薩署)

宮崎署都城支署森林官

那須芳広(福岡署)

宮崎署都城支署森林官

今井 隆(熊本南部署)

宮崎署都城支署森林官

谷山亜紀子(宮崎署)

宮崎署都城支署森林官

原口隼人(宮崎署)

宮崎南部署森林官

菅 和光(熊本署)

北薩署森林官

水本博充(宮崎署都城支署)

鹿児島署森林官

水野由芽(屋久島署)

大隅署森林官

藤井佑介(屋久島署)

屋久島署森林官

吉村浩一(熊本南部署)

屋久島署森林官

笠本佳宏(大隅署)

沖繩署森林官

菅 秀雄(福岡署)

大分西部署

大久保和人(福岡署)

企画調整課

尾野亜裕美(林野庁)

經理課

三國卓裕(鹿児島署)

森林整備課

古川拓也(屋久島署)

資源活用課

# 新規採用者紹介

☆一般職(大卒) 林学

水野沙保里(計画課)

小畑 暢(大分署)

山口雄大(宮崎署都城支署)

北里春香(鹿児島署)

☆一般職(高卒) 林業

富田尚斗(大分西部署)

遠山祐吏(宮崎南部署)

山下英晃(北薩署)

東 佑太(大隅署)

後藤小菜美(沖繩署)



一山隼人(大隅署)  
長崎署

松井郁弥(大分署)

佐賀署

長田 葵(大分西部署)

宮崎署都城支署

増田莉菜(林野庁)

宮崎南部署

平生 竜(北薩署)

北薩署

小崎凌平(熊本南部署)

大隅署

濱本敬士(資源活用課)

屋久島署

村上英志(計画課)

沖繩署

迫本翔太(宮崎南部署)

林野庁出向

松岡良二(治山課)

東北局出向

山村晃弘(治山課)

近畿中国局出向

松永和久(屋久島署)

(独)関西育種場出向

榎木野俊昭(沖繩署)

環境省出向

西 文彦(熊本署)

後藤直哉(西都児湯署)

田上正文(大隅署)

原口梨沙(屋久島署)

### PLANT FOR THE FOREST 植樹祭

【都城支署】北霧島水源の森  
づくり推進会議が小林市と共催  
で菓ノ浦国有林の分収造林地で  
植樹祭を行いました。今回で6



苗木を植樹する参加者＝都城

## 長い間ご苦労さまでした

◇定員内職員◇・・・13人

3月31日付林野庁長官発令

井 廣二(総務課)

谷口文敬(総務企画部)

肥後幸男(総務企画部)

福岡雅喜(総務企画部)

大川有一(計画保全部)

森 隆繁(福岡署)

津々見正樹(宮崎署)

3月31日付森林管理局長発令

山本美美(総務課)

山部勝章(保全課)

上村五十記(熊本南部署)

賀納 清(熊本南部署)

塩根 勝(北薩署)

増永勝也(熊本署)

◇定員外職員◇・・・24人

3月31日付森林管理局長発令

木藤義則(福岡署)

秋好正一郎(熊本署)

丸山功二(熊本署)

長崎清孝(熊本署)

杉野 茂(熊本署)

後藤幸一郎(熊本署)

植木平三郎(熊本南部署)

山本成二(熊本南部署)

林田初巳(熊本南部署)

樋口一弘(熊本南部署)

中村彰男(大分西部署)

高倉義彦(大分西部署)

菊田雄一(西都児湯署)

平田 忠(宮崎署)

立元定美(宮崎署)

河野祐二(都城支署)

多田淳一(宮崎南部署)

外園忠久(北薩署)

塚田正弘(鹿児島署)

白桃 勉(大隅署)

西尾利昭(大隅署)

岩切秋義(大隅署)

新原 恵(大隅署)

坂本幸弘(熊本南部署)

を植樹。会場からは小林市内が一  
望でき、また、市内からは植  
栽地が遠望できるということで、  
参加者にとってはより力が入る  
イベントとなりました。マスク  
ミの取材もあり、森林の持つ水  
源涵養などの重要性について広  
く周知されることが出来ました。

## 「遊々の森」で卒園イベント開催

【長崎森林管理署】3月10日、  
NPO法人奥雲仙の自然を守る  
会からの依頼を受け、保育園児  
26人を対象に、卒園記念イベン  
トを行いました。当日は天気にも  
恵まれ、園児が絵を描いた菓  
箱13個の取り付けや紙芝居、工  
作などを「遊々の森」で行いま  
した。子どもからは、たくさ  
んの質問や笑顔がみられ、楽し  
いイベントとなりました。今回



紙芝居を熱心に観る園児ら＝長崎

のイベントを通して、子どもら  
が少しでも自然に興味を持つ機  
会になればと思います。

## 延岡アースデーへ参加

【宮崎北部森林管理署】3月  
16日に第21回延岡アースデー  
が開かれ、協賛団体が延岡市内  
で清掃活動や植樹作業を行い、  
当署も2箇所において植樹祭を  
行いました。木戸ノ元国有林で  
の植樹には大学生が参加。全員  
が植樹作業は初めてということ  
で、当署職員の植付作業の説明  
を熱心に聞き1本1本丁寧に植  
付けていました。もう一方の浜  
山国有林では、毎年参加してい  
る地区住民の方々もおられまし  
た。植付作業後は子供達に森林  
教室と両会場で記念撮影をし解  
散しました。



イベントに参加したみなさん＝宮崎北部



# 綾プロ・有識者との意見交換会

2月24日に宮崎県綾町の国有林及び綾町役場において、有識者との現地検討並びに意見交換会が、綾の照葉樹林プロジェクト連携会議主催で開かれ、有識者6人（伊藤哲宮崎大学教授、西脇亜也宮崎大学教授、高木正博宮崎大学教授、遠藤晃南九州大学准教授、河野耕三照葉樹林文化推進専門監、NPO法人宮崎野生動物研究会副理事長）と綾プロジェクト関係者18人が参加し行われました。

当日の午前中は、綾プロエリ



現地検討会へ参加した関係者

ア内の①間伐実施箇所（平成20年活用型）、②人工林除伐実施箇所（スギ、ヒノキ除伐）、③保護対策実施箇所（シカ柵実施箇所）において、宮崎森林管理署の説明を受け現地検討を終えました。

午後からの意見交換会は、冒頭に綾プロジェクト代表し前田穰綾町長が挨拶、その後協定5者の事業説明及び意見交換のため①森林環境教育基本計画案②保護・復元の両面からのシカ被害等対策、③復元のための施業方法（間伐）について提起がなされました。

有識者からは、森林環境教育では「これまでの実績及び今後の可能性について情報整理が必要。対象を誰にするのかなどの問題点を整理することによって発展性が出てくる」、シカ被害対策及び復元のための施業方法では「間伐で前生樹を伐るのはやめて欲しい。復元ではなく後退を起こしている。今は、技術的に難しいところの復元方法を主として検討しているが、優先順位を

変え、やりやすいところから実施すべき」など多くの助言が出されました。

最後に、近藤昌幸九州森林管理計画課長が「照葉樹林の再生（復元）について、目に見える成果を見せていく取り組みなどが重要。有識者の皆様には、今後とも助言をお願いしたい」と挨拶し、有識者との意見交換会を閉会しました。

（担当：計画課）

## 一ツ瀬川流域森林整備連絡会議開催

【西都児湯森林管理署】第4回「一ツ瀬川流域森林整備連絡会議」が開かれ、当署職員や宮



今から16年前、東北のある山あいの営林署に勤務していた3月下旬の雪解け待ち遠しい頃、突然何の前ぶれもなくクシャミを連発し出して止まらない。何

# 春の来訪者

だろう、風邪を引いたわけでもないしと、そのときは深く考えることもありませんでした。次の日も1日中クシャミが断続的に出て止まらない。まさか「花

国、県、市町村担当者などの知識・技術の向上、普及に努めていくこととしています。



外部講師による採材研修の様子 子西都児湯

粉症？一瞬その単語が頭をよぎりましたが、そんな柔な体でもあるまいし、ましてや山を仕事場に行っている人間が花粉症になったなんてことが知れたら、それこそ笑いものになると認めたくありませんでした。しかし、

「花粉症」と仲良く付き合っていくことと思います。

（宮崎南部森林管理署長 松葉瀬裕之）



# 熊本県八代市において 木になる紙シンポジウムを開催

3月9日、熊本県八代市やつしろハーモニホールにおいて、「国民が支える森林づくり運動」推進協議会が主催する木になる紙シンポジウムが開かれました。

「木になる紙」は、豊富な未利用資源である間伐材を、身近な製品である「紙」として有効利用し、売り上げの一部を山元へ直接還元する取り組みです。

今回のシンポジウムでは山元に収益の一部を直接還元するという特徴に着目し、その社会的価値を考慮することをテーマとし

ました。

まず、雑誌「オルタナ」の編集長である森撰氏より「ソーシヤル・フランディングの時代」と題した基調講演が行われ続いて、行政の立場から「木になる紙」の普及に精力的に取り組まれた佐賀市役所職員山口和海氏より「木になる紙の佐賀市に与えた影響」と題した基調講演が行わ

れました。

森氏からは、社会的価値の創造が企業の価値、競争力を左右する時代に入っていることを踏まえ、多様な企業による様々な取組事例が紹介され、山口氏からは佐賀市において「木になる紙」が普及するまでの経緯、周囲に与えた影響などが紹介されました。

商事の森岡博氏も加わり、社会的価値という側面から、「木になる紙」を普及させる方法を中心に議論が行われました。社会的価値を高める方向性は正しいこと、若者ほど社会的価値に敏感であることなどの状況を踏まえ、若者への訴求を工夫していくことが今後の課題であるなどの取りまとめがなされました。

会場からも熱心な質問や意見が出され、密度の濃いシンポジウムとなりました。

(担当：企画調整課)



木になるシンポジウム2014



名前は果実がネズミの糞に似ており葉がモチノキに似ているからつけられたと説明しても、自然観察会に参加している40代以下の人に「ネズミの糞」はほとんど通じません。

ネズミモチは生活圏で普通に見かける対生の葉を持つ樹木で、日本の中部以西に分布し、照葉樹林における代表的な陽樹です。近年トウネズミが多く植えられています。判別が、葉を日にかざして葉脈が見えない、果実がやや楕円形であればネズミ

## 78 ネズミモチ (モクセイ科)

モチです。ネズミモチは葉が小さいので葉の大きさで大体分かりますが、葉は日陰などで変化しますので葉の大きさだけの判断は禁物です。

花序は円錐形で白色の小さい花を密につけます。花冠の下部は筒状となり中ほどまで4裂、裂片は花筒とはほぼ同長で平開します。紫褐色に熟した果実は、漢方薬に利用され、古くから利尿、強壯、強精薬として用いられています。なお「ネズミモチ」と名前が付いていますがモチノキ科でなくモクセイ科です。



今年の花見を楽しみにしていたが、自身の異動もあり花見も出来ないままに、桜の木は葉桜へと変わってしまった▼桜といえば入学式を連想してしまうが、今年も真新しい制服に身を包んだ新入生を目にする事が多くなった▼先日子供の入学式に出席したが、新入生のこれから始まる新しい学校生活への期待に胸躍らせた顔を見ていたら、自然と頬が緩んでしまった▼今回の異動では多くの人が新しい職場、新しい業務に就かれたと思うが、経験者の方は業務に就いた頃の初心を忘れず、新任の方も今のその気持ちを持ち続け、これからの新しい業務に取り組んでいただきたいと願う▼かく言う私も今回の異動で新しい業務に就き、広報九州の作成に携わる事となりました、広報九州は九州森林管理局の今を広く一般のかたがたに知っていただく窓口だと思っています▼これまで続いた歴史ある広報九州を今後も皆様に親しんでいただける広報誌となるよう、初心を忘れず取り組んでいきたいと思っておりますので、皆様のご協力をよろしくお願いします。(也)